



I.B.MUSEUM SaaS リニューアル情報 EXPRESS

発行元:早稲田システム開発株式会社 東京都新宿区高田馬場4-40-17 tel.03-6457-8585

✉ maps@waseda.co.jp 🏠 www.waseda.co.jp/

Vol.8 2022.09.30 今回のテーマ | 公開設定

今回の内容

日頃はI.B.MUSEUM SaaSをご利用いただき、誠にありがとうございます。最近、弊社には「デジタルアーカイブを公開したい」というご相談が多く寄せられるようになりました。巷では『ミュージアムのDX』という言葉も飛び交うなど、資料データベースの外部公開ニーズはかつてない高まりを見せていると言ってよい状況です。

I.B.MUSEUM SaaS のインターネット公開機能では、開設する収蔵品検索ページを自館にふさわしいイメージにアレンジすることができます。扱う収蔵品も来館者層も、まさに十館十色のミュージアム。ホームページもそれぞれ見せ方が異なりますので、リンクでつながる検索ページもできるだけテイストを合わせたいところです。また、デザインだけでなく機能面も同様で、研究者への情報提供に重きを置くなら検索項目は多めに、一般の皆様が気軽に使えることを優先するなら検索項目はシンプルに…と、利用者の目線に合わせた設計が求められます。

こうした「自館仕様」は現在も可能ですが、この公開機能はもともと追加機能として実装されたもの。その後も改善を重ねてきた経緯から、設定画面がやや複雑に感じられる方も少なくないようです。そこで、今回のリニューアルでは、作業環境の効率化を目指して大幅な見直しを実施。ここでは、主な変更点についてご説明いたします。

I.B.MUSEUM SaaSリニューアル情報 EXPRESS 発行予定

Vol.1	2022/1/31	リニューアル計画概要とログイン画面
Vol.2	2022/2/28	デザインコンセプトとホーム画面
Vol.3	2022/3/31	検索トップと検索結果一覧
Vol.4	2022/4/30	詳細画面の特徴
Vol.5	2022/5/31	データ登録方法とクリップリスト
Vol.6	2022/7/15	人物・名簿とメディア
Vol.7	2022/8/31	資料利用
Vol.8	2022/9/30	公開設定 Now!
Vol.9	2022/10/31	リニューアルQ&Aとこれまでのまとめ (公開設定までを振り返り)
Vol.10	2022/11/30	項目設定
Vol.11	2022/12/31	ユーザ管理・一括処理
Vol.12	2023/1/31	帳票設定
Vol.13	2023/2/28	移行方法と並行運用について
Vol.14	2023/3/31	総集編 (Vol.1からVol.13までを1冊に)

Vol.9では、予定を変更し、リニューアルQ&AとVol.8までのまとめとします。



before after



公開専用「ダッシュボード」の新設で、 現在の資料情報の発信状況を可視化。

前述の通り、追加で実装されたI.B.MUSEUM SaaS の公開機能は、当初はひとつの検索サイトを開設するための機能として出発しました。その後2つ目のページの運用が可能となり、4つのアプリと2つのWeb API に対応し、さらにジャパンサーチ連携データ出力機能を追加。多種多様なスタイルでの情報発信が可能になりました。

現行画面では発信チャンネルのボタンを選択すれば公開設定ページに入れますが、新デザインでは各チャンネルの状況を見渡せる専用の「公開ダッシュボード」が搭載されます。そのチャンネルで現在公開中の資料点数を確認したり、公開ページを直接開けるほか、公開のON/OFFもボタンひとつで切り替え可能。公開対象資料一覧も出力することができます。



- ↑ 現行画面では設定するチャンネルを選ぶ操作
- ↓ 新画面はトップから直接「公開ダッシュボード」へ



【リニューアルで新設される「公開ダッシュボード」画面】

公開設定ページが開きます。

公開資料一覧画面が開きます。

公開ページのURLと、そのページを開くボタンです。

このトグルボタンで公開の可否を選択できます。

最後に公開サイトへ差分データを転送した日時を表示します。

公開資料一覧を出力します。

現在「公開可」に設定されている資料の点数を表示します。

表示の切り替えとモーダルウィンドウで すっきりと見やすい画面構成を実現。

現行の画面では、左に置かれたアンカーで必要なセクションにジャンプしつつ、下にスクロールさせながら順番に設定していきます。このスタイルについてはリニューアル後もほぼ同様ですが、より見やすく、より快適に作業できるように、画面レイアウトに2つの工夫を加えました。

まず、内容の性質で設定項目を大別し、それぞれに専用のメインエリアを用意。画面上部に表示切替ボタンを設けることで、延々とスクロールすることのない画面構成を採用しました。

併せて、ひとつの画面内に配置されている細かな設定項目については、これまでの画面でも何度か登場したモーダルウィンドウ（表示中に他ウィンドウを開けないポップアップ）を採用。基本画面をすっきりシンプルにまとめることができました。

【現行の公開設定画面】



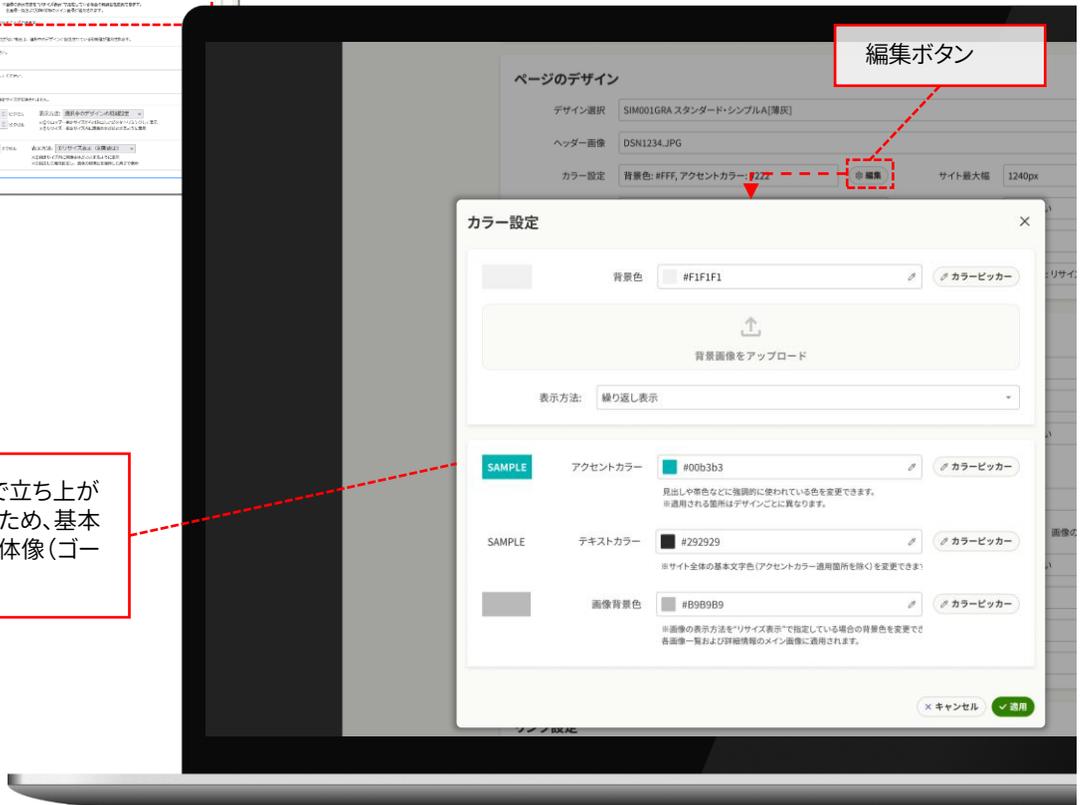
【リニューアル後の公開設定画面】





現行画面では、詳細な設定も基本設定画面から行うため、見た目がかなり複雑な印象になっていました。

新デザインでは、編集ボタンで立ち上がるモーダルウィンドウ上で行うため、基本設定の画面はシンプルで、全体像(ゴール)が見えやすくなります。

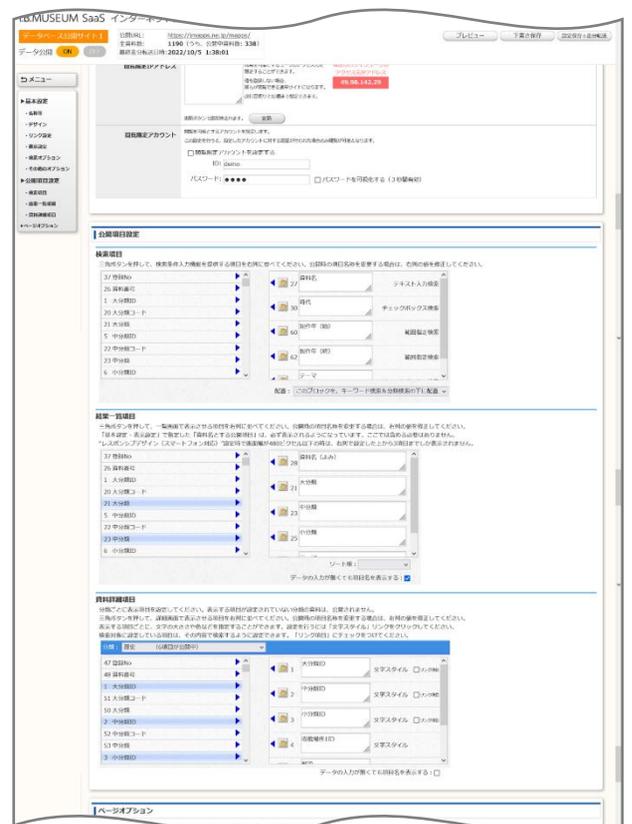


【カラー設定のモーダルウィンドウが表示されている状態】

他の設定と性質が異なる公開項目設定は、専用画面に切り替えて作業。

公開設定作業の多くが「どう見せるか」という視点の内容であるのに対し、公開項目設定では「何を(=どの項目を)見せるか」が中心となります。間違いのない作業が求められる場面だけに、項目名称がズラリと並ぶ現行画面は見た目が複雑で、圧迫感をお感じの方もいらっしゃるかも知れません。とは言え、すべてをモーダルウィンドウにまとめるには、スペースや内容から考えるとやや不向き。表示を切り替えて使う専用画面の導入は、正確な作業をサポートするとともに心理的な負担を軽減できる環境づくりを意図したものです。

また、現行の画面では、人物データの公開設定のみ別のインターフェイスが用意されています。しかし、操作自体は大きく変わらないことから、今回のリニューアルでは公開項目設定画面に統合することになりました。



【現行デザインの公開項目設定】

新しい公開設定画面は、全部で4つのセクションに分かれます。まず、検索ページのトップで使う検索項目を設定するセクション。2つ目は検索結果一覧で表示する項目を決めるセクションで、3つ目は同様に詳細画面での表示項目を指定するセクション。そして、最後は人物データの公開項目を設定するセクションです。

3つ目までは現行画面の通りですが、これまで独立させていた人物データの設定画面もひとつの画面内に収めました。全体としての機能はほぼ同じですが、レイアウトが見やすくなったほか、ボタンに動作を示すテキストを追加したことで、操作性がグッと向上しています。

早稲田ミュージアム収蔵品データベース

公開設定、サイト1公開設定、公開項目・公開名の設定

公開設定に戻る → 次の設定: サイト2

サイト1公開設定 サイフォン美術館 | SCIVONE MUSEUM

更新した内容を保存 | ダウンロード | 印刷

検索条件入力を提供する項目 | 基本設定 | 公開項目・公開名の設定 | オプションパーツ

検索結果一覧に表示する項目

資料詳細に表示する項目

人物の公開項目の編集

検索条件入力を提供する項目

項目設定一覧

- 大分類
- 中分類
- 資料名
- 資料名_典拠
- 資料名_(英語)
- 資料名_(英語)_典拠

12件を 入れる

6件を 外す

検索対象に入れる項目

- 大分類
- 中分類
- 小分類
- 資料名
- 解説

検索結果一覧に表示する項目

項目設定一覧

- 大分類
- 中分類
- 資料名
- 資料名_典拠
- 資料名_(英語)
- 資料名_(英語)_典拠

12件を 入れる

6件を 外す

検索対象に入れる項目

- 大分類
- 中分類
- 小分類
- 資料名
- 解説

ソート順: 資料名

データがない項目: 項目名を表示する

資料詳細に表示する項目

編集対象の分類を選択: 歴史 更新あり

公開資料点数: 13,456点

項目設定一覧

- 大分類
- 中分類
- 資料名
- 資料名_典拠
- 資料名_(英語)
- 資料名_(英語)_典拠

12件を 入れる

6件を 外す

検索対象に入れる項目

- 大分類
- 中分類
- 小分類
- 資料名
- 解説

表示制御

データがない項目: 項目名を表示する

資料名とする公開項目: 資料名

人物の公開項目の編集

左側に表示する項目

項目設定一覧

- 人物名_(ヨミ)
- 人物名_(英語)
- 人物名_(原表記)
- 人物名_(別名)
- 人物名_(別名ヨミ)
- 国籍

12件を 入れる

6件を 外す

表示対象に入れる項目

- 内容
- 内容
- 内容
- 内容
- 内容

右側に表示する項目

略歴・解説 | 略歴・解説 | 解説

表示制御

データがない項目: 項目名を表示する

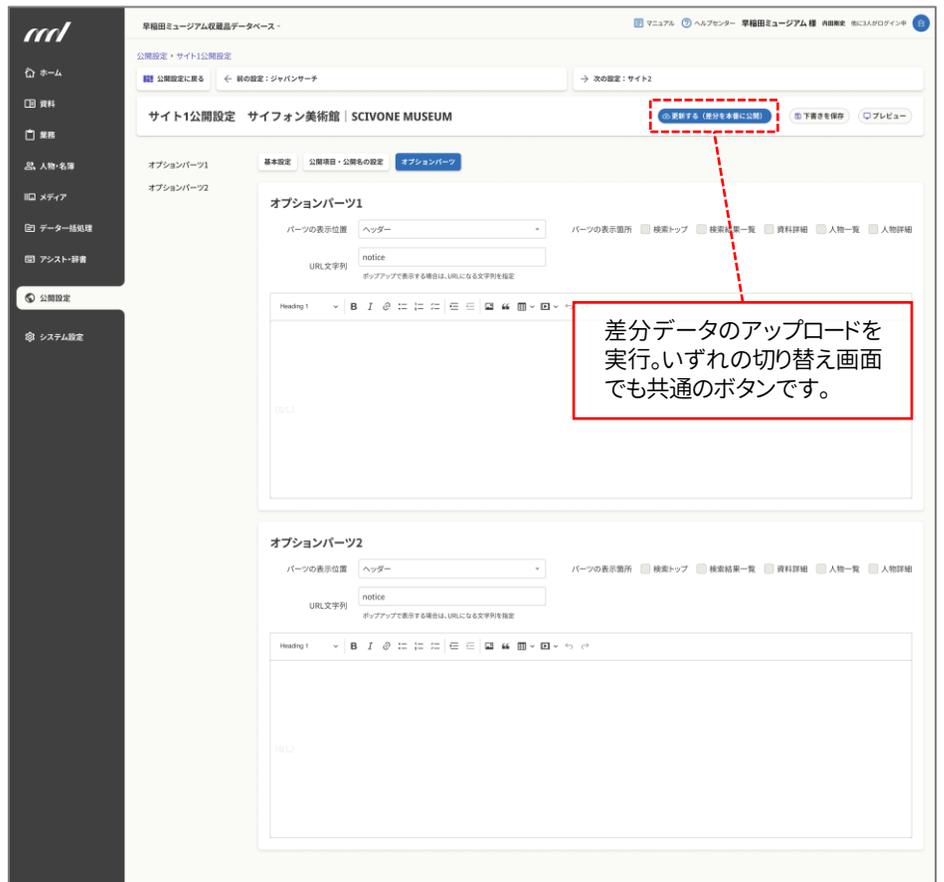
人物名とする公開項目: 人物名

設定が変更されたら「更新あり」のアイコンが表示されます。

「オプションパーツ設定」は 文章作成という特殊性ゆえに 別画面に切り替えを。

データベースサイトの利用方法説明文、
画像の著作権についての注意喚起文
など、館の方針に沿って表示が必要と
なるテキストエリアの内容を設定する機
能です。文章の作成や画像の挿入など、
日ごろから使い慣れた Microsoft
Word などに近い操作感で作業できる
という点は、現行画面と変わりません。

性質としては「設定」のひとつですが、
文章を作成するというやや特殊な作業
となることから、こちらも専用画面に切り
替えることで文案づくりに集中できる環
境を用意しました。



新機能「公開対象資料一覧」で、現在公開中の資料を ワンクリックで確認することが可能に。

現行画面では、資料管理から公開がONになっている資料を検索することで公開中の資料を確認することができました。今回のリニューアルでは、もっと容易に、スピーディに把握できるよう公開対象資料の一覧画面を新たに追加。設定作業中に素早く資料の公開状況をチェックできるようになります。また、この画面内でそのまま資料を非公開することもできますので、各画面を行き来する手間が大幅に軽減されます。



公開設定画面から、公開対象資料をまとめて追加できる画面へ。

前ページでは、公開設定の作業を行いながら公開対象資料の一覧を確認できる新画面をご紹介しました。この新設に伴い、さらにそこから新たに公開資料を追加することができる機能も確保しています。

現行画面では、資料管理画面で1点ずつ確認しながら設定していましたが、リニューアル後は公開設定のメニューの中で複数の公開資料をまとめて追加できるようになります。

まず、検索やクリップリストなどで候補を絞りながらリストアップしたら、公開したい資料のチェックボックスをすべてONにします。その後、画面下のボタンをクリックすれば、公開資料を一気に増やすことができます。

この機能により、たとえば資料データの公開可否を検討するために作成していたクリップリストがある場合、内容が決定すれば最終版のクリップリストに登録されている資料をまるごと公開することもできます。なお、この機能は公開サイトだけでなく、アプリやWeb APIへの公開も対象となります。

公開対象資料を一覧に開く 「サイトA」の公開対象資料を追加

公開対象資料を追加

日本語関係文書...他2件 キーワード検索 AND アノット 詳細検索 条件のリセット 保存した検索条件 最近の検索履歴

検索 すべてクリア 検索オプション 追加検索 除外検索 絞り込み検索 この条件を保存

大分類

- 歴史 127
- 政治 36
- 考古 254
- 美術工芸 12
- 生物 638

所蔵区分

- 所蔵 1,239
- 寄贈 2
- その他 8

ウェブ公開状況

- 公開 512
- 非公開 727

クリップリスト

- 個人用
- R5年度定期チェック 11
- 業務購入経緯補 36
- 企画経緯補 124

共有

- R3年度企画経緯補 103
- R3年度購入 3

R5年度定期チェック 個人用 更新した内容を保存 複製 クリップリスト呼び出し 新規クリップリスト

123456件の検索結果 選択中 0件 除外 抽出

1件目~10件目 1 / 72 16 > >>

紙番号	件名	登録日	最終更新	タグ/メモ
1	東海道五拾三次之内 江尻 三保遠望	2018-08-25	2020-12-12	東海道五拾三次 令和2年度定期補基
2	東海道五拾三次之内 駒子 名物茶店	2018-08-25	2020-12-12	東海道五拾三次 令和2年度定期補基
3	早稲田太郎起請文(写L1)	2018-08-25	2020-12-12	早稲田家文書 令和2年度定期補基
4	早稲田太郎起請文(写L2)	2018-08-25	2020-12-12	早稲田家文書 令和2年度定期補基
5	早稲田太郎起請文(写L3)	2018-08-25	2020-12-12	早稲田家文書 令和2年度定期補基
6	早稲田太郎起請文(写L4)	2018-08-25	2020-12-12	早稲田家文書 令和2年度定期補基
7	早稲田太郎起請文(写L5)	2018-08-25	2020-12-12	早稲田家文書 令和2年度定期補基
8	早稲田太郎起請文(写L6)	2018-08-25	2020-12-12	早稲田家文書 令和2年度定期補基
9	早稲田太郎起請文(写L7)	2018-08-25	2020-12-12	早稲田家文書 令和2年度定期補基
10	早稲田太郎起請文(写L8)	2018-08-25	2020-12-12	早稲田家文書 令和2年度定期補基
11	早稲田太郎起請文(写L9)	2018-08-25	2020-12-12	早稲田家文書 令和2年度定期補基
12	早稲田太郎起請文(写L10)	2018-08-25	2020-12-12	早稲田家文書 令和2年度定期補基
13	早稲田太郎起請文(写L11)	2018-08-25	2020-12-12	早稲田家文書 令和2年度定期補基
14	早稲田太郎起請文(写L12)	2018-08-25	2020-12-12	早稲田家文書 令和2年度定期補基
15	早稲田太郎起請文(写L13)	2018-08-25	2020-12-12	早稲田家文書 令和2年度定期補基
10	早稲田太郎起請文(写L8)	2018-08-25	2020-12-12	早稲田家文書 令和2年度定期補基

1件目~20件目 1 / 72 16 > >>

R5年度定期チェック 個人用 更新した内容を保存 複製 クリップリスト呼び出し 新規クリップリスト 新規レコード

123456件の検索結果 選択中 0件 全て

キャンセル 追加

チェックを付けた資料は、「追加」ボタンでまとめて公開することができます。

今回のまとめ

ここまでお読みいただき、誠にありがとうございました。ご不明な点などはございませんでしょうか。

長引く新型コロナウイルス感染拡大の影響もあってか、最近はいんターネット上で資料データベースの公開に踏み切るミュージアムが増えています。それにつれて、情報発信ツールとしてI.B.MUSEUM SaaSを導入される館も増加。また、博物館法の改正でデジタルアーカイブが博物館の事業として明記されたこともあり、この傾向は今後も加速していくものと思われます。

そんな時代性を受けて、今回のリニューアルでは、データ公開の簡易化やスピードアップにまつわる画面の改善や機能の追加も大きなテーマとなりました。また、弊社サイトで連載中の『ミュージアムインタビュー』で頻出するなどご好評をいただいて

クリップリスト機能との連携で、「作ったリストを丸ごとワンクリックで公開」という作業フローも実現することになります。

さらに、これまでの機能追加で増え続けてきた各公開チャンネルの活用状況を俯瞰できるダッシュボード機能の追加も大きなポイントです。資料データの公開・非公開を管理しやすくなりますが、今回のリニューアルの完了後に予定する機能追加では、より直感的に把握できるアップデートも計画しています。

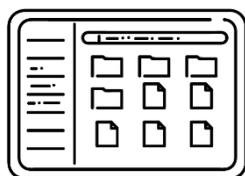
資料管理側で画像の著作権などを細かく丁寧に管理しながら、掲載可能となった情報は素早く公開する。そんな作業を最小の労力で反復できる、使いやすい公開機能を。I.B.MUSEUM SaaSは、今後もミュージアムの情報発信を有利にする機能改善を続けて参ります。



次号についてのお知らせ

さて、今回で第8号を数えるリニューアル情報EXPRESSは、ここまで30ページ近い情報量をお届けした計算になります。突然、作業画面が一変することへの戸惑いを事前に軽減するために、できるだけ細部の情報までお伝えできるよう情報を小分けにする形で発行して参りましたが、その間、お問い合わせやご質問などもお寄せいただいております。

そこで次号は、当初の予定に1号分を追加する形で、過去8回を振り返る特別号を発行することにいたしました。解説のポイントを再度コンパクトに整理し、よくいただくご質問にもお答えする「総集編」としてお届けいたしますので、もしもご不明点などがございましたら、ぜひ担当スタッフにお伝えください。個別の回答のほか、もし発行に間に合えば次号の記事内でもお答えできればと考えております。



- ※ 掲載スケジュールは、すべて発行時点での予定です。開発の状況により変更となることがございます。
- ※ 掲載のリニューアル画面は開発中のものです。